

2022 パラグライダー日本選手権参加報告 (2022/9/16~19、茨城県足尾山)

ニセコ・ルスツスカイスポーツ倶楽部 濱田 革

茨城県足尾山で開かれた大会に北海道代表として参加しましたので報告します。

大会の成績や内容は、下記リンクに詳しいので、ここでは私個人のフライト内容と反省点等について記します。

第1日目 (9/16 (金))

今後の天気予報が芳しくないため、芳賀ゴールの 50.7km のタスクが設定されてた。

気象ブリーフィングで、午後から渋くなる予報も報告されたが、ゲートオープン後選手の動きは鈍い。

しかし、十分にソアリングコンディションだったので、早めに TO。

スタート時間まで、足尾山近辺でソアリング。

多くの選手は尾根上で待機しているが、東風でありスタートシリンダー通過後、南に設定された最初のシリンダーに向かうには、尾根上より沖からフォロー成分を背負って向かうのが良いと考え、スタート前に沖のサーマルで高度を稼ぎ始めた。

しかし、回し始めると、なんと北に流れ、南の WP から離れていく。

慌てて、尾根沿いに戻り高度を稼ぐが間に合わず、他の選手のスタートを下から見上げることとなった。

低いままスタートすると次も苦しむため、出遅れ覚悟で高度を稼いでからスタート。

その後は大きなスタックもなく、センタリングとグライドを繰り返し、八郷盆地内のポイントクリアし、加波山の北で 1,500m まで上げて高峯に向けてグライド。

(筑波エリアは、加波山から北の高峯山への平野部の渡りが一つのポイント。)

春と異なり、低くなると上げ直しに苦労しそうなので、途中の弱いリフトを回しながらジワジワ平野部を北上。

結果的に、ログを見るとこれが効率悪く、時間を無駄にした。

最後の TP をクリアした後当たったサーマルでマージン 200m まで上げ直し、31 番目の選手から約 10 分後の 32 番目のゴール。

トップが 1 : 45 : 21 で 989 点、私は 2 : 16 : 42 で 675 点の 32 位。

スタート時の判断と平野部渡りの失敗が大きな反省点。

第2日目 (9/17 (土))

事前の予報より好転したが、オーバキャストになる予報もあり、益子ゴールの 29.5km のタスク設定。早い選手なら約 1 時間で回れるコース。

昨日と打って変わってゲートオープン後の選手の動きは活発。

空中スタートまで十分時間もあり、テイクオフの優先順位 (前日の成績順) も悪くないの

でスタート 30 分前にテイクオフ。

昨日ほどではないが、上げきる前にスタートとなり、950m でスタート。

アクセルをフルで踏み込みトップ選手を追いかけるが、少しずつ引き離されていく。

大きく離されないようじっくり上げきらずに先を急ぐ。

加波山で高く上げてから平野部を渡りたいので、周りの選手を見てリフトポイントを一チ。

60m ほど上にいた山下選手(高度 830m)が加波山南西側に回り込むのを見て、私(770m)も加波山の西側に回り込む。

加波山の南斜面には採石場があり、ここから強いサーマルが出る事がある。

しかし、この選択、この 60m の違いが命運を分ける。

山下選手は、この後燕山の北側と平野部渡りの途中で 1,150m まで上げ、1:01:57 の 3 位でゴール。

私は、加波山で上がり山をなめながら少しずつ下がり、雨引観音南で 50m ぐらいなりもうダメかと思ったが、野焼きの煙に入るとバリオが鳴り、起死回生の復活。

平野部渡りや高峯尾根でも効率よく上がり、なんとか TP をクリアし、さらに高峯の尾根でサーマルリサーチするが、良いのが来ない。

仕方なく、レベルキープの弱いのを回して高峯尾根の裏へ。

しかし、直ぐにシンク帯にはまり、細い谷の中で降りられるところを探しながら北上。

ここでも、ファイナルターンを始めた時にバリオが鳴り、起死回生の復活。

フライトコースがゴール方向からずれており、向かい風成分が混じるため、マージンの 300m とってからファイナルグライド。

2:07:14 で 37 番目の選手から 17 分遅れの 38 番目でゴール。

ゴール上空から見ても、ほとんど全ての選手がクライダーを畳終わっていました。

距離得点 412 点、リーディング得点 40 点、タイム得点 0、計 452 点で 41 位。

ゴールできなかった 3 選手にもリーディングポイントで逆転されました。

2 日間とも粘ってゴールしましたが、スピードと先行することが重要で、総合で 36 位、スポーツクラス 8 位となりました。

これまでの大会でも学んでいることですが、スタートの位置取り、サーマルを上げきる技術、気象状況や他の選手の動きを踏まえた判断力をさらに磨く必要があります。

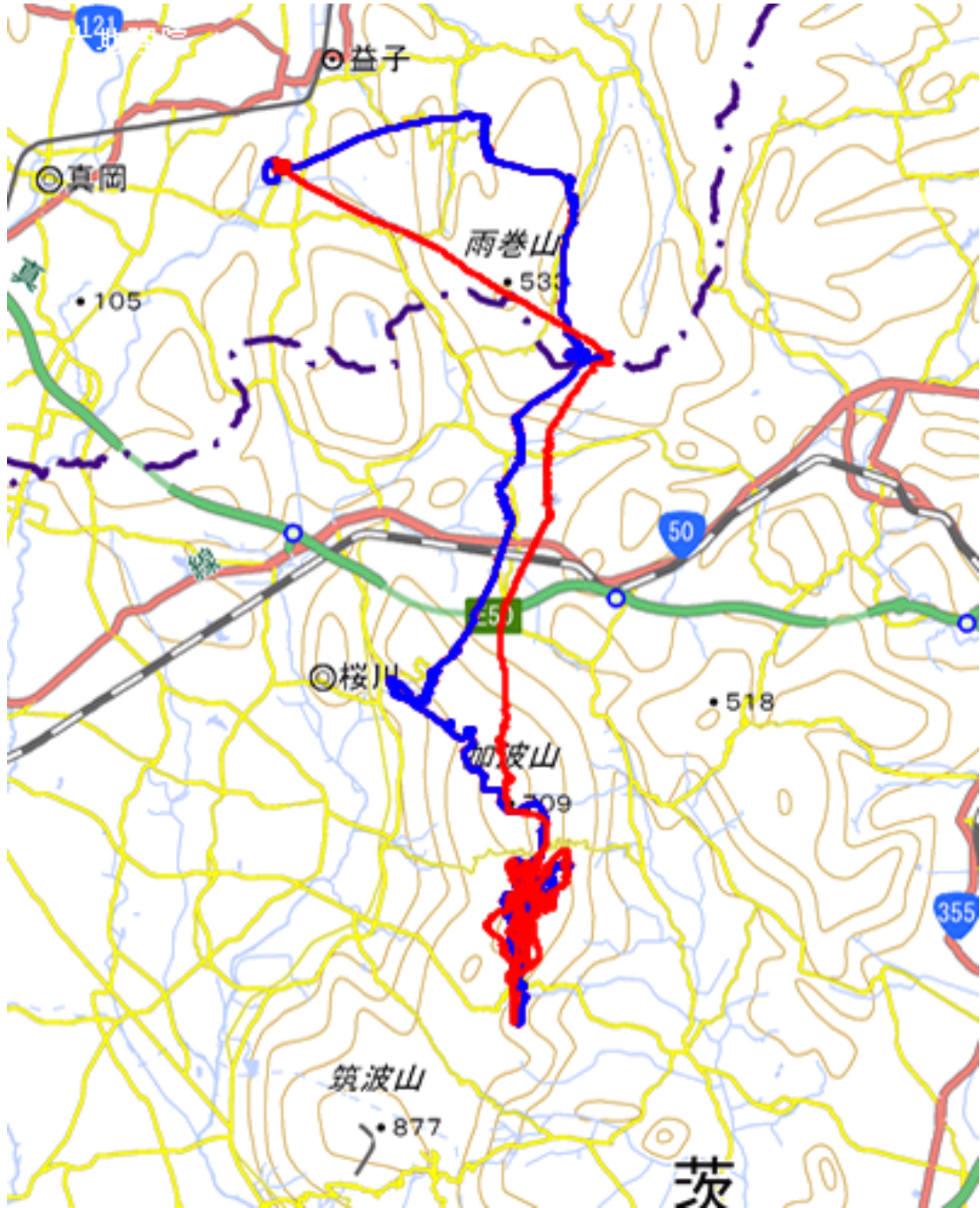
これらを学ぶためには、大会でトップ選手と飛ぶことが重要であり、今後も可能な限り J リーグへの参加を続けて行きたいと思います。

<https://jhf.hangpara.or.jp/pgc/event/209#tab>

<https://www.facebook.com/jhf.pgc/posts/pfbid02tfk8pkpspKsksuKhcMqua6MJ8MtcfcKeXCURpepbUZp24zgz727Z5fS1BoU4D9CZl>

<https://www.facebook.com/jhf.pgc/posts/pfbid0J9vavK5E5Q8cTKnw9RmyN6So5WL83t8SxDQfXe9zEc9oNpftMckBxh4Mzydk3T2Zl>

濱田（青）と山下選手(赤) スタート→ゴールのトラック



濱田（青） 山下選手（赤） 明暗を分けた加波山周辺のトラック

